

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 24 日現在

機関番号：32636

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2015

課題番号：26580055

研究課題名(和文) アメリカ文学における啓蒙主義

研究課題名(英文) American Literature and Enlightenment

研究代表者

小倉 いずみ (Ogura, Izumi)

大東文化大学・法学部・教授

研究者番号：00185563

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は18世紀のアメリカにおいて、知識人が読んだ啓蒙主義の文献を文学と思想の観点から探究した。啓蒙主義により宗教の影響力が弱まった結果、個人の「自立」が促進されたが、そのアメリカ的自我の持つ意味を分析した。

小倉いずみはアメリカ独立革命時の各植民地の領土争いの関係、植民地時代の衆愚政治からどのように民主主義が展開したかを分析した。また独立当時の地図の正確さをエイベル・ビューエルの合衆国地図で解説した。坂部真理は啓蒙主義の遺産と現代の教育改革を分析し、教育スタンダードをめぐる論争を解説した。中根一貫はオーストリア・リベラルを中心に、20世紀初頭の東中欧における自由の確立や立憲主義を論じた。

研究成果の概要(英文)：The project "American Literature and Enlightenment" explored how the idea of an individual self was established in the 18th century of British North America and examined its legacy in the contemporary America and Europe.

Izumi Ogura detailed the colonial charters and its relationship with the claims to the territories in the West at the time of American Revolution. Abel Buell's map of the United States was then the product of scientific research and at the same time, shows how the new nation and new people looked at new American self. Mari Sakabe analyzed the inheritance of American Enlightenment and the present argument of the national educational standard. Kazutaka Natane centered on Austrian Liberal and explained the liberty and constitutionalism in the eastern and central Europe in the early 20th century.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：コネチカット地図 Abel Buell ベンジャミン・フランクリン トマス・ジェファソン 教育スタンダード オーストリア・リベラル 北西部条令 急進的啓蒙主義

1. 研究開始当初の背景

本研究の出発点はピューリタニズムの宗教思想である。Sacvan Bercovitch は *The Puritan Origins of the American Self* (1975) において、アメリカ人のアイデンティティの原型をピューリタニズムに見出し、力強いピューリタン像を復活させた。

「自分の理性で自立する」という啓蒙主義の人間中心主義は、アメリカ独立革命においてアメリカ人のアイデンティティを形成した。本研究は小倉いづみのピューリタニズムにおける業績をもとに、その衰退と崩壊を解説した。1690年代からハーバード大学に導入された啓蒙主義の教育は、古いカルヴィン主義を放逐し、科学を学問の中心とした。18世紀は理神論により宗教と科学は妥協したが、アメリカ独立革命の後にアメリカ人の「自己意識」は確立した。1700年代はアメリカ独立革命につながる重要な思想上の啓蒙主義の時代であり、本研究はその解明に貢献した。

2. 研究の目的

「アメリカ文学における啓蒙主義」は、18世紀のアメリカにおいて科学による進歩により宗教の影響力を弱めた啓蒙主義を文学と思想の観点から探究することを目的とした。本研究は植民地時代のピューリタニズムからアメリカ独立革命までの期間を中心に、アメリカの精神に存在する強い self-identity を確立させた啓蒙主義を解説することを目的とした。知識人は科学の文献を読むことにより迷信を排除したが、これはアメリカ独立革命の原動力となっただけでなく、思想においても強い自己意識を創り出した。本研究は Thomas Hooker の植民地時代文学から始め、Benjamin Franklin や Thomas Jefferson 等の理神論者、アメリカの独立当時の思想を科学との接点から分析した。

また研究の進展に伴い、啓蒙主義が現代のアメリカにどのように影響したかを坂部真理が分析した。現代の教育は個人の自立を促進する上で重要だが、全国教育スタンダードをめぐる争いは、共和党や民主党の中で重要な議題となっており、これを坂部が解説した。さらにヨーロッパの外交を専門とする中根一貴は、オーストリアの政治における立憲主義を現代の中東欧の文脈の中に入れて分析した。

3. 研究の方法

啓蒙主義に関する資料の収集を日本とアメリカ、チェコ共和国の現地調査により行った。古い資料であるため、インターネット上で入手できない図書の閲覧のため海外出張をした。

小倉は過去の科学研究費により、コネチカット州ハートフォードで現地調査を行ない、図書館の学芸員やアメリカ史の専門家がハートフォードにいたので、彼らとの関係を維持した。またジョーンズ・ホプキンス大学のラ

ーザー・ジフやハーバード大学のデヴィッド・ホールとの共同研究も継続した。

坂部は議会図書館の Law Library で、教育の「標準化」に関わる諸法案の公聴会資料、およびアメリカの主要な経済団体が刊行した教育改革に関する出版物（政策提言など）を収集した。

中根は、主にチェコ共和国国民図書館においていまだに電子化されていない新聞資料を収集した。

(1) 2015年の夏はアメリカ合衆国マサチューセッツ州のコンコードを中心とした。独立戦争の舞台となったノース・ブリッジや解放された黒人が居住したシーザー・ロビンズの家を調査した。コンコードにはヘンリー・ソローに関する文献を保存している The Thoreau Institute があり、ソロー学会の文献やソローの研究をした人たちの文献を保存している。ソロー・インスティテュートの組織は Walden Woods Project と呼ばれ、もともとはウォールデン湖周辺の森の保存を目的とした。周辺の森林を倉庫や住宅地にする開発から守るため、プロジェクトが中心となって森林を保存している。

またルイザ・メイ・オルコットの父ブロンソン・オルコットが超絶主義を実践しようとした Fruit lands を調査した。250 エーカー (32 万坪) の農場で自給自足の生活を目指したが、ブロンソン・オルコットは冬の寒さや過酷な労働に耐えられず、7 か月で挫折したが、この実験農場は当時の知識人に大きな影響を与えた。

ニューヨークでは、自由の女神の内部にある博物館を訪れた。またクラウン (冠) 部分まで上った。台座の部分にある博物館は、建設に必要とされた技術を詳細に解説・展示していた。

(2) 2014年の現地調査は、ハートフォードを中心とした。コネチカット歴史協会がアメリカが独立した際に、Abel Bueell が作成した最初のアメリカ合衆国の地図を調査した。コネチカットは植民地時代に英国国王から勅許状を 1662 年に得たが、これをもとにコネチカットは西部への領土を拡大しようとした。コネチカット歴史協会では地図の著作権使用料を支払った。この地図は将来学術図書に収録する予定である。フッカーの 8 代目の子孫であるシェパード・ホルコム氏もこの古地図を所有していたので、娘のアン・ホルコムさんにシェパード氏が晩年を過ごした大邸宅を案内していただいた。19世紀のハートフォードの富豪であったホルコム家は広大な邸宅を所有し、地図や多くのアメリカ植民地時代の資料があり、大変参考になった。

4. 研究成果

本研究は、2年間にわたり 18世紀のアメリカにおいて科学の進歩により宗教の影響力を弱めた啓蒙主義を文学と思想の観点から探究した。2年間で 3人の研究者により、アメ

リカとヨーロッパの両面から啓蒙主義と個人の自立について分析した。アメリカ文学は小倉いずみ、現代アメリカ政治は坂部真理、ヨーロッパの現代政治を中根一貴が担当した。3名で行なうことにより、当初の目的よりも多面的で現代的な分析ができた。

2015年度末に小倉いずみ、坂部真理、中根一貴の論文を収録した85頁からなる研究成果報告書を出版した。坂部真理は「アメリカ啓蒙主義の遺産と現代の教育改革をめぐる政治対立」において、現代アメリカの教育スタンダードをめぐる論争を解説した。中根一貴は「オーストリア・リベラル研究の展開とその限界 20世紀初頭の東中欧における『進歩』と『自立』の再考にむけて」において、個人的自由の確立、法の支配や立憲主義を論じた。

小倉いずみは3章からなる「アメリカ文学と啓蒙主義」を執筆した。「序章 - 初期アメリカ文学と啓蒙主義」において植民地時代からアメリカ独立革命までの思想を概観した。「第1章 - 英国領北米植民地の領土と勅許状」は、マサチューセッツ湾植民地とコネチカット植民地の領土の拡大を、その創設の根拠である勅許状から解説した。この章は小倉が過去に行った挑戦的萌芽研究「知的フロンティアとしてのコネチカット州ハートフォード」を深化した。

「第2章 - ジョン・ウィンスロップにおけるエリートと自由の意味」は、知識ある富裕な一部の指導者にリーダーシップを与えるべきであると考えていた神権政治的な古い衆愚政治の解釈を分析した。

「第3章 - 最初のアメリカ合衆国地図」は、アメリカ独立革命の時に争われた独立13州による北西部領土の獲得運動について述べた。第1章で分析した勅許状を根拠に、マサチューセッツ州やコネチカット州は西部の土地の領有権を主張したが、最終的に共和制と相容れない領有権を放棄し、アメリカ合衆国の領土が確定した。コネチカットのエイベル・ビューエルが作成した合衆国地図は、「アメリカ合衆国」The United States of Americaという文言が最初に記載された地図である。この地図はアメリカの国民意識と領土の獲得を明確に示すものであり、またコネチカットがその重要な役割を果たしたことを示している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 15 件)

小倉いずみ『アメリカ文学と啓蒙主義』科学研究費挑戦的萌芽研究による研究成果報告書。金星堂。1-85, i-v 頁。担当論文は21-85頁。平成28年(2016)3月31日(査読無)

小倉いずみ(書評)エリック・ラーソ

ン著、佐久間みかよ訳『第三帝国の愛人 ヒトラーと対峙したアメリカ大使一家』(岩波書店)『ヘンリー・ソロ研究論集』(日本ソロ学会)第42号、頁未定。平成28年(2016)印刷中(査読無)

坂部真理「教育の『標準化』をめぐるアメリカ新保守主義勢力の分裂 『危機に立つ国家』からコモン・コアまで」『国際比較政治研究』(大東文化大学)第25巻、149-173頁。平成28年(2016)3月31日(査読無)

坂部真理「教育改革をめぐるアメリカ新保守主義の変容」『名古屋大学法政論集』巻・号未定。平成28年(2016)印刷中(査読無)

坂部真理「アメリカ啓蒙主義の遺産と現代の教育改革をめぐる政治対立」『アメリカ文学と啓蒙主義』科学研究費挑戦的萌芽研究による研究成果報告書。金星堂。1-12頁。平成28年(2016)3月31日(査読無)

中根一貴「チェコ社会民主党の憂鬱 近年のチェコ政党政治における変化と議会制民主主義」『国際比較政治研究』(大東文化大学)第25巻、59-77頁。平成28年(2016)3月31日(査読無)

中根一貴「オーストリア・リベラル研究の展開とその限界 20世紀初頭の東中欧における『進歩』と『自立』の再考にむけて」『アメリカ文学と啓蒙主義』科学研究費挑戦的萌芽研究による研究成果報告書。金星堂。13-20頁。平成28年(2016)3月31日(査読無)

小倉いずみ「はじめに」『日本ソロ学会創立50周年と研究の発展を願って』『命の泉を求めて 日本ソロ学会50年の歩み』(日本ソロ学会)3頁、16-17頁。平成27年(2015)10月1日(査読無)

小倉いずみ「会記」『ヘンリー・ソロ研究論集』(日本ソロ学会)第41号、82頁。平成27年(2015)9月30日(査読無)

坂部真理「政党政治の行方 野党機能に焦点を当てて」『国際比較政治研究』(大東文化大学)第24巻、9-49頁。平成27年(2015)3月31日(査読無)

坂部真理「近年の自民党政治に関する研究動向について」『国際比較政治研究所ニューズレター』第24巻、12-15頁。平成27年(2015)3月31日(査読無)

中根一貴「一体性と競合のあいだ 1907年から1914年までのチェコ政党政治の変容と政党間競合(二)」『法学』(東北大学)第78巻第6号、514-561頁。平成27年(2015)2月28日(査読無)

中根一貴「一体性と競合のあいだ 1907年から1914年までのチェコ政党政治の変容と政党間競合(三・完)」『法学』(東北大学)第79巻第1号、71-118頁。平成27年(2015)4月30日(査読無)

小倉いずみ「植民地時代の先住民とピーコット戦争(1637)」『ヘンリー・ソロ研究論集』(日本ソロ学会)第40号、31-40

頁。平成 26 年(2014) 10 月 10 日(査読無)
小倉 いずみ「会記」『ヘンリー・ソロ
研究論集』(日本ソロ学会)第 40 号、95 頁。
平成 26 年(2014) 9 月 30 日(査読無)

〔学会発表〕(計 4 件)

小倉 いずみ「アメリカの民主主義と自由の理念 植民地時代からアメリカ独立革命まで」創価大学文学部アメリカ文学コース主催、創価大学英文学会講演会。創価大学(東京都・八王子市)。平成 28 年(2016) 11 月 25 日。

小倉 いずみ「Abel Buell による最初のアメリカ合衆国地図」第 62 回九州アメリカ文学会大会。九州大学伊都キャンパス(福岡県・福岡市)。平成 28 年(2016) 5 月 9 日。

中根 一貴「チェコ社会民主党の憂鬱 近年のチェコ政党政治における変化と議会制民主主義」大東文化大学国際比較政治研究所シンポジウム。大東文化大学板橋キャンパス(東京都・板橋区)。平成 27 年(2015) 10 月 21 日。

坂部 真理「政党政治の行方 野党機能に焦点を当てて」大東文化大学国際比較政治研究所シンポジウム。大東文化大学板橋キャンパス(東京都・板橋区)。平成 26 年(2014) 10 月 29 日

〔図書〕(計 2 件)

小倉いずみ 第 2 章「ニューイングランドの風土」の 2「ラルフ・ウォルド・エマソンと奴隷解放運動」を執筆。松本昇・高橋勤編『ジョン・ブラウンの屍を越えて 南北戦争とその時代』金星堂。総ページ 356 頁、小倉の担当論文は 135-160 頁。平成 28 年(2016) 3 月 25 日。

小倉いずみ 第二章「アメリカの歴史と文学」の 3「ピューリタニズムと文学」、および第三章「アメリカの四季の祭りと行事」を担当。江藤秀一・笹田直人編『英語教師のための教養講座シリーズ』開拓社。印刷中。平成 28 年(2016) 10 月刊行予定。

〔その他〕

小倉いずみホームページ

Academic Achievement

URL:

<http://achieve.server-shared.com/~izumi/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小倉 いずみ (OGURA, Izumi)

大東文化大学・法学部・教授

研究者番号: 00185563

(2) 研究分担者

坂部 真理 (SAKABE, Mari)

大東文化大学・法学部・准教授

研究者番号: 30513668

中根 一貴 (NAKANE, Kazutaka)

大東文化大学・法学部・講師

研究者番号: 10600645

(3) 研究協力者(海外共同研究者)

デヴィッド ホール(ハーバード大学神学大学院教授) David D. Hall, Bartlett Research Professor on New England Church History, Harvard Divinity School, Harvard University

ラーザー ジフ(ジョンズ・ホプキンス大学英文学部教授) Larzer Ziff, Caroline Donovan Professor of English, Emeritus, and Research Professor of Department of English, Johns Hopkins University

ルーシー ブラウン(コネチカット墓石協会事務局長) Ruthie Brown, Executive Director, Connecticut Gravestone Network (CGN)

アン ホルコム(ハートフォード市 Ancient Burying Ground 会員、トマス・フッカーの 9 代目子孫) Anne Holcombe, Member, Ancient Burying Ground Association, Inc. (the 9th generation descendant of Thomas Hooker, the founder of Hartford, Connecticut)

ジェフリー クレイマー(稀覯本コレクション学芸員、ソロー・インスティテュート) Jeffrey S. Cramer, Curator of Collections, The Thoreau Institute at Walden Woods

吉田 達郎(デジタル関係の情報提供者、ボストン周辺の歴史と現地調査の情報提供者) Dr. Tatsuro Yoshida, Director of Research and Development, New Health Sciences, Inc.